

一般会計決算の概要

固 財政課 ☎231

【平成30年度一般会計決算額】

歳入(収入)は前年度と比べて1億8,227万9,823円増の338億7,193万6,520円、歳出(支出)は前年度と比べて2億8,149万2,445円増の327億1,244万9,215円となりました。翌年度に繰り越すべき財源を除いた最終的な収支は、8億6,355万6,886円となりました。

財政健全化の状況

本市独自基準(財政運営判断指標) ▶財政健全化条例に基づく財政運営判断指標は、前年度よりおおむね向上しています。

財政運営判断指標	H29年度決算実績	H30年度決算実績	目標値
財政力指数(※1)	0.798	0.817	0.860
経常収支比率(※2)	89.7%	88.5%	90%以下
財政調整基金比率(※3)	15.2%	16.7%	15%以上
地方債残高比率(※4)	116%	115%	120%以下
債務償還可能年限(※5)	4.2年	3.8年	4.5年以下

(※1) 財政基盤の強さ。指数が大きいほど財政力が高い
 (※2) 財政構造の弾力性。比率が低いほど弾力性が高い
 (※3) 標準的な1年間の収入(標準財政規模)に対する財政調整基金残高の割合。比率が高いほど貯金が多い
 (※4) 標準財政規模に対する地方債残高の割合。比率が低いほど残高が小さい
 (※5) 負債総額が返済可能な規模になっているかを表す。年数が小さいほど負債が小さい

国基準(健全化判断比率) ▶法に基づく健全化判断比率は、すべての指標で健全な数値を維持しています。

健全化判断比率	H30年度決算実績	早期健全化基準値
実質赤字比率(※1)	-	12.48%以下
連結実質赤字比率(※2)	-	17.48%以下
実質公債費比率(※3)	2.7%	25%以下
将来負担比率(※4)	-	350%以下

(※1) 標準財政規模に対する一般会計等(一般会計、鶴瀬駅東・西口土地区画整理事業特別会計、公共用地先行取得事業特別会計)の実質赤字額の割合。赤字ではない場合は「-」と表記
 (※2) 標準財政規模に対する市のすべての会計の実質赤字額の割合。赤字ではない場合は「-」と表記
 (※3) 標準財政規模に対する一般会計等で負担する借入金の償還金等の割合。比率が小さいほど負債が小さい
 (※4) 標準財政規模に対する一般会計等で将来負担する負債の割合。充当可能財源が将来負担額を上回る場合は「-」と表記

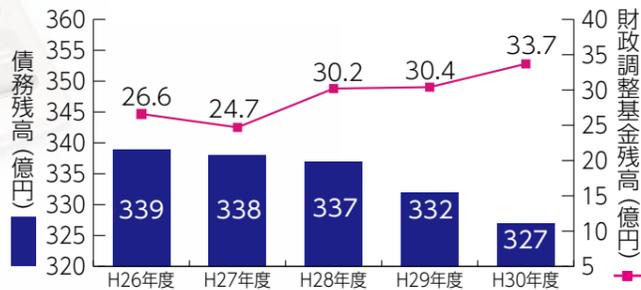
債務と貯金の状況

債務残高

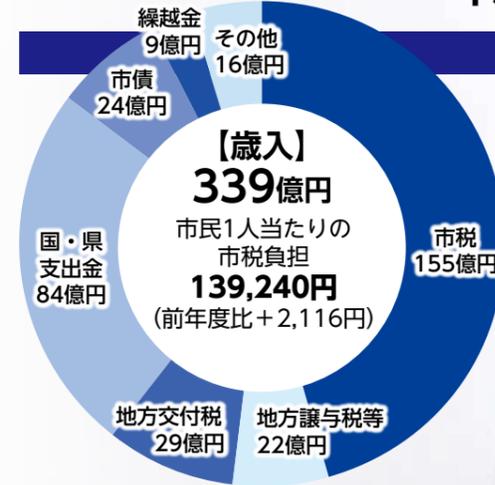
327億円
(前年度比△5億円)
※市の全会計の債務残高

貯金額

33.7億円
(前年度比+3.3億円)
※財政調整基金の残高



平成30年度の歳出・歳入

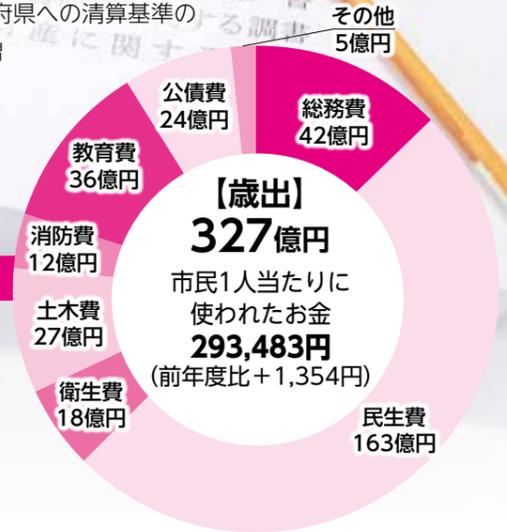


▶歳入の主な特徴

- 市税収入は前年度に比べ3億円の増となり、8年連続して前年度決算を上回る
- 国・県支出金は障害介護給付費や民間保育所への給付費の増などで前年度に比べ1.5億円の増
- 地方交付税は市税収入や地方消費税交付金の増などで1.7億円の減
- 地方消費税交付金は都道府県への清算基準の見直しなどで1.8億円の増

◀歳出の主な特徴

- 総務費は基金への積立金の増やふじみ野交流センター空調設備更新工事の皆増などで4.7億円の増
- 民生費は障害介護給付費や民間保育所への給付費の増などで6.3億円の増
- 土木費は幹線道路整備に伴う物件補償料および用地取得費の減や緑の散歩道「貝戸の森」および「谷津の森」の用地取得費の皆減などで9.5億円の減



【地方消費税交付金(社会保障財源化分)の使いみちについて】

地方消費税交付金のうち社会保障財源化分は、市が行う社会保障施策経費に充てることとされています。平成30年度は、国から7億7,576万2,000円が交付され、右記の経費に使用しました。

社会福祉関係(子育て、高齢者福祉など)	4億3,748万9,000円
社会保険関係(国民健康保険、介護保険など)	2億9,431万5,000円
保健衛生関係(疾病予防、医療体制確保など)	4,395万8,000円
計	7億7,576万2,000円

平成30年度に取り組んだ主な事業

第5次基本構想・後期基本計画に基づき、切れ目のない子育て支援や健康長寿に向けた取組みなどの各種福祉施策の充実をはじめ、浸水対策や空家対策などすべての市民が安心安全に暮らしている施策のほか、本市の潜在力を活かした都市基盤整備や地域活性化、シティセールスなど活気と賑わいを創出する施策など、人にあたたかい、魅力と元気あふれるまちに向けて各種事業を展開しました。

子育て支援と教育の充実

- 子ども未来応援センターの拡充【37万円】
- ひとり親家庭に対する子育て支援の充実【452万円】
- 子ども未来応援基金の設立支援【100万円】
- 民間保育所(鶴馬2丁目)および小規模保育施設(大字鶴馬、大字勝瀬)の整備補助【3億4千650万円】



いのちの大切さをはぐくむ授業の実施【36万円】



教育用パソコンのタブレット化などの情報教育の推進【5千821万円】

安心安全なまち、健康・福祉の充実

- Jアラート(全国瞬時警報システム)の更新など災害情報などの伝達手段の充実【491万円】
- 空家対策の推進【66万円】
- 自転車ヘルメット着用の推進【265万円】
- 凶川排水機場増強設計業務委託の実施【766万円】
- 内視鏡による胃がん個別検診の導入および乳がん個別検診費用の助成【252万円】
- ふじみパワーアップ体操の普及拡大(特別会計)【113万円】
- あいサポート運動の推進【184万円】
- 市内3駅周辺に街頭防犯カメラの設置【416万円】

活気と賑わいの推進

- 市ホームページのリニューアルの実施【2千232万円】
- 市内の商工業事業者に対してホームページ作成費などへの補助【25万円】
- 市内産青梅を使用した梅酒「梅恋花」の製造・販売などへの補助【68万円】
- シティセールスの推進【185万円】
- 富士見橋通線および水子鶴馬通線など都市計画道路の整備【1千552万円】
- 鶴瀬駅東・西口での土地区画整理事業の推進(特別会計)【5億1千952万円】
- 企業誘致を目的としたシティゾーンの整備【1千820万円】

